

連絡先：自動車局 審査・コール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42361
 アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和 3年 12月 22日

| | | | |
|----------------------------------|---|---------|---------------|
| リコール届出番号 | 外3337 | リコール開始日 | 令和 3年 12月 22日 |
| 届出者の氏名又は名称 | スカンピアジャパン株式会社 代表取締役社長 ミケル・リンネル 製作国：スウェーデン 製作者名：スカンピアCV AB 問い合わせ先： 03-6735-3535 www.scania.com/jp | | |
| 不具合の部位（部品名） | 補助燃料タンク | | |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | 車両の補助燃料タンクにおいて、車両設計が不適切なため走行振動や走行による燃料移動の影響で水抜きドレインプラグ周辺に応力が集中するものがある。そのため、当該ドレインプラグ周辺にヒビが入り、燃料漏れが発生し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。 | | |
| 改善措置の内容 | 全車両、補助燃料タンクを対策品に交換する。 | | |
| 不具合件数 | 11件 | 事故の有無 | なし |
| 発見の動機 | ユーザーからの市場情報による | | |
| 自動車使用者及び自動車特定整備事業者に周知させるための措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールおよび管理ディーラーより直接連絡する ・弊社インターネットホームページに掲載する。 ・自動車特定整備事業者：車両の管理ディーラー制度で全ての使用者の特定が可能なため機関誌に掲載しない。 | | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び輸入期間 | リコール対象車の台数 | 備考 |
|-------|----|------------------------|--|------------|----|
| スカンピア | 不明 | スカンピア (LPGRS シリーズトラック) | YS2G6X20005603427～YS2R6X20009255768 平成30年7月17日～令和3年11月20日 | 154台 | |
| | | (計1車種) | (輸入期間の全体の範囲) 平成30年7月17日～令和3年11月20日 | (計 154台) | |

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。